



リサイクルループを構成するパートナーシップ

私たちがそれぞれの役割を果たすことによって、リサイクルの環が完成します。食品をムダにせず、ゴミも減らすことができます、地球にやさしいライフスタイルです。「安全安心で新鮮、そして美味しい」、作った人の顔が見える農産物をお客様にお届けすることが、ユニーの役目と考えています。

■ 食品関連事業者 食品循環資源を排除する店舗

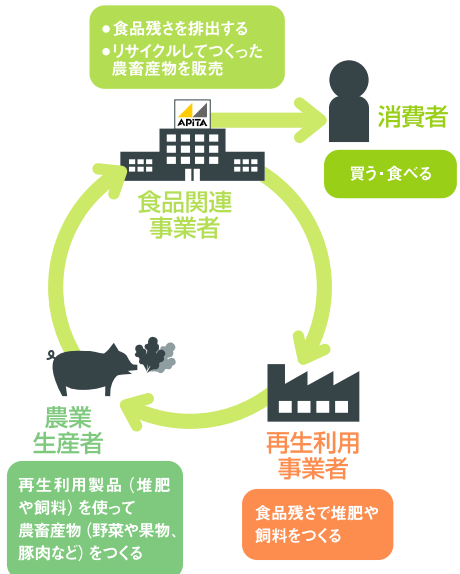
- ① 調理クズ、魚アラ、売れ残り、残飯などから異物を排除し分別、計量する
分別マニュアルの作成。従業員、テナントへの教育の徹底。
- ② 食品循環資源の品質を確保するために、適正に保管する
廃棄物庫の整備（清掃、冷蔵施設）。保管容器の整備（分別容器、洗浄）。

■ 再生利用事業者

- ① 品質の高い再生製品（堆肥、飼料）を製造する
原料である食品循環資源、製造方法、施設、保管の基準作成と監視。
- ② 農業生産者のニーズにあった再生製品を製造する
再生製品の販売先を確保し、農業生産者とパートナーシップを図る。

■ 農業生産者 リサイクル農産物を消費者に提供する

- ① トレーサビリティの確立（生産者の顔の見える農産物）
農業生産者の生産技術と適正な再生製品（堆肥、飼料）によって、安全安心な農産物を提供してもらう。



リサイクルループを構築するために

店舗の所在地で「地域循環型食品リサイクルループ」を構築し、地域の再生利用事業者や農業生産者とパートナーシップを図っていくことがユニーの方針です。パートナーシップを探すために、紹介者（もしくはコーディネーター）が必要になります。パートナーシップで最も重要な要素は、お互いの食品リサイクルに対するポリシーが合っていることです。

環境担当者の役割

食品残さをリサイクルするためにパートナーを探す

- ① リサイクルループで生産した農作物を販売することを目的としてパートナーを探す
再生利用事業者の製造する堆肥や飼料が、農業生産者の利用に適した品質かどうかを確認する。
- ② 再生製品（堆肥や飼料）を利用する農業者を探す
地産地消を前提に、生産技術の高い農業者に主旨を理解してもらい、パートナーになってもらう。

仕入担当者・販売担当者の役割

リサイクル農作物を販売

- ① 生産された農作物を販売するために、社内で検討する
販売計画を立てる前に、農作物の栽培履歴や品質が販売基準に達しているかどうかを確認する。
- ② 農業生産者と食品関連事業者がパートナーシップを図る
販売計画に基づいて生産計画を検討して、購入契約を結ぶ。
- ③ 食品関連事業者はリサイクル作物の特徴を消費者へ十分にアピールする
売り場にリサイクルループの主旨説明や生産者の紹介などを掲示し、「安全安心な農作物」であることを明示する。

2007年食品リサイクル法改正

- リサイクル率の目標値は業界別に設定されました。改正以前の「排出量の20%以上のリサイクル率」は義務ですが、2012年までに達成すべき目標が決められています。
食品製造業—85%
食品卸業—70%
外食産業—40%
食品小売業—45%
- 多量発生事業者には定期報告が義務づけられ、毎年発生した量と取り組み状況を主務大臣に報告します。一定のフランチャイズチェーンは、本部に報告する義務があります。
- 新再生事業計画（食品リサイクルループ）が制定されました。
- 再生利用手法が追加されました（熱回収、エタノール、炭化）。